

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2021年 10～12月期の景況 / 2022年 1～3月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、低迷している。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2021年10～12月期の実績と2022年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る今期の業況は、前回調査から▲4.3%の悪化となった。業種別では、サービス業は▲28.0%から▲8.0%へ、製造業は▲19.0%から▲10.0%へと回復した。また、卸売業は▲15.0%から▲22.2%へ、建設業は17.9%から▲35.7%へ悪化、小売業は▲5.3%から▲33.3%へと大幅に悪化した。

来期の新規設備投資については、今期と同様となる見込みである。

経営上の問題点については、建設業は22期連続で「従業員の確保難」が1位となった。また、その他の業種では「需要の停滞」が上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景況変動に関する複数の指数を合成して算出する。

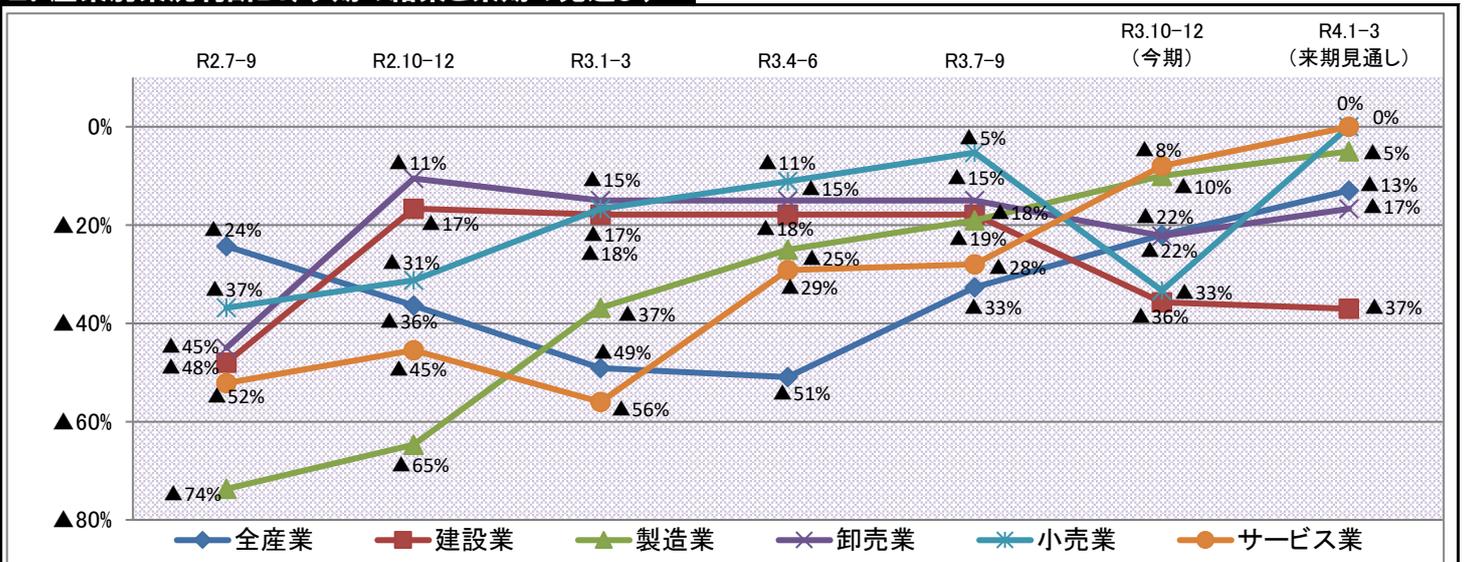
DATA

- 調査期間: 令和3年12月17日～12月24日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 111社(82.2%)

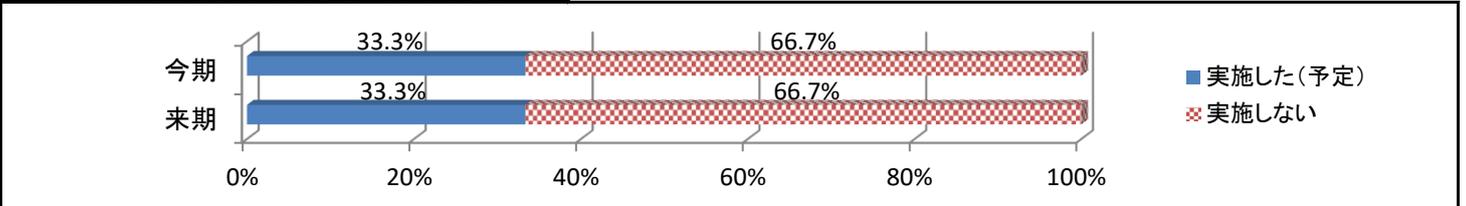
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回は	売上高	前回は	資金繰り	前回は	経常利益	前回は	従業員数	前回は
全産業	▲22.0%	▲4.3%	▲21.8%	▲2.3%	▲6.4%	6.9%	▲16.5%	5.6%	▲12.0%	▲14.7%
建設業	▲35.7%	▲17.9%	▲42.9%	▲17.9%	▲10.7%	3.6%	▲35.7%	▲7.1%	▲14.3%	▲17.9%
製造業	▲10.0%	9.0%	20.0%	58.1%	▲21.1%	8.9%	▲10.5%	14.5%	5.0%	▲4.5%
卸売業	▲22.2%	▲7.2%	▲27.8%	2.2%	0.0%	▲10.0%	5.6%	35.6%	▲16.7%	▲36.7%
小売業	▲33.3%	▲28.1%	▲47.4%	▲52.4%	0.0%	5.0%	▲26.3%	▲16.3%	▲11.8%	▲11.8%
サービス業	▲8.0%	20.0%	▲8.0%	0.3%	0.0%	24.0%	▲8.0%	8.0%	▲20.0%	▲4.0%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 20.7%	原材料価格の上昇 20.7%	仕入単価の上昇 17.6%	需要の停滞 18.4%	利用者ニーズの変化への対応 19.4%
2位	熟練技術者の確保難 14.6%	需要の停滞 15.5%	需要の停滞 17.6%	消費者ニーズの変化への対応 16.3%	需要の停滞 17.7%
3位	官公需要の停滞 14.6%	生産設備の不足・老朽化 13.8%	従業員の確保難 15.7%	仕入単価の上昇 10.2%	従業員の確保難 16.1%
4位	材料価格の上昇 12.2%	原材料費・人件費以外の経費の増加 12.1%	大企業の進出による競争の激化 7.8%	従業員の確保難 10.2%	人件費以外の費用の増加 8.1%